

PANPLE STEELPAN WORKSHOP

～ パンプリ スティールパン コーカスヨウク ～

♪ スティールパンの歴史 ♪

スティールパンはカリブ海に浮かぶ島国、トリニダード・トバゴ共和国で生まれたメロディを奏せられる打楽器です。この島にはずっと昔から住んでいたアメリカの人たちが平和に暮らしていましたが、石油がたくせんと取れることを知ったヨーロッパの人たちがアフリカの人たちを奴隷としてこの島に連れてきて働かせました。アフリカの人たちは、ヨーロッパ人たちのお祭りだったカーニバルを始めましたが、反乱を恐れた支配階級の人たちに禁止されました。

けれど人々は、ふるさとの太鼓のかわりに街じゅうに転がっていた石油を入れるドラム缶を叩き、カーニバルをやめようとはしませんでした。あるとき、どこまでも、いくつかにくぼんだドラム缶を叩くと違う高さの音が“出る”ことに気づいた人が、もっとたくせんのくぼみを作っていろんな高さを奏せられるように工夫した楽器を作りました。これがスティールパンのはじまりです。

やがて人々は競ってよい音色のするスティールパンや、とても高い音やとても低い音のするさまざまな形のスティールパンを作り出しました。そしてそれぞれの町や村に生まれたスティールバンドが集まり、演奏の上手下手や、リズムのすばらしさを競いあって国一番を決めるため、毎年カーニバルでコンテストが開催されるようになりました。そのコンテストは“パパラ”と呼ばれ、楽しまれるようになりました。こうして、音楽を決して忘れなかった人々の心が、新しい土地で、新しい楽器を發明し、新しいふるさとの文化を作り出しただけでなく、新しい可能性を秘めた芸術的な楽器として、いまや世界中から注目されるようになったのです。

